

相 中 時 代 の 思 い 出 (※1)中第 30 回卒 阿 部 純太郎 (※2)

相中時代の思い出は数限りなくある。しかし約 50 年も前の事になってしまったため、こまかい点はほとんど忘れてしまったが、静かに考えているうち、大分記憶をよみがえらせることができた。その 2、3 について書いて見よう。

1 ストライキ

中学校 5 年間の生活の中で、最も大きな出来事として印象に残っている。これは、我々 5 年生にとって、刻々卒業が近づき、進学就職等にそれぞれ頭を痛めていた 2 学期の終り 12 月の半ばであった。降って湧いたようなこの出来事に、一時は非常な緊迫感を感じさせられたが、最終的には何事もなく落ち着いた。

しからば、なぜそんな問題が起ったのかと言えば、学校長の学校経営方針に対する一部教職員の反発が原因になったようだ。相中卒の先輩である一教員が、自分の担任である 4 年生を扇動したため、4 年生が先に騒ぎ出し、これがやがて 5 年生に飛火してきた。その結果、4、5 年生は講武堂や二の丸に集結して氣勢をあげ、あわやストライキ突入かという一歩手前まで行ったのであるが、間一髪回避された。12 月 13 日?の朝、4、5 年生の級長十数名が会議室に集められ、約 2 時間にわたり学校長から懇々と説得されたため、遂にかまえた矛をおさめることになったのである。

2 寒稽古

毎年 3 学期の 1 月 8 日から 2 週間実施された。寒中の早朝 5 時から 7 時までの 2 時間、講武堂で稽古した柔剣道は、今でも脳裏に刻まれている。私などは、学校までかなり遠距離であったため、この行事は相当心身にこたえるものがあった。毎朝 4 時頃起床、寒気の厳しい真暗な道を、星空を眺めながら 4 キロも歩いて学校に通った。稽古が終っても家が遠い者は、帰宅の時間がないため、授業がはじまるまで校内に居った。朝飯として持参したにぎり飯を、小使室の炭火であたためながら食べたことなど思い出はつきない。また 2 週間の寒稽古が終了すると、学校からは大福餅をもらい、嬉しいものだった。

3 運動会

毎年秋、二の丸で開催された。1、2 年生は、1 人 5 枚ずつ万国旗をかかされたことなど思い出される。1 枚 1 枚 5 年生にしらべられ、下手にかいてきたり、余り簡単な旗などは、かきなおさせられたものだ。

4 映画見学

映画は活動写真と呼ばれ、宇多川畔の中村座（今の野菜市場）で、時々見学させられた。毎学期試験の終わった日や主な学校行事で見せられたものだが、常には映画館に入ることが禁止されているだけに、当時の生徒にとっては非常な楽しみでもあった。

5 上級生

中学校 1、2 年の下級生時代、上級生は実に偉いそしてまたこわい存在であった。毎日昼食後はほとんどの生徒が控所というかなり広い所に集まってくる。ここには全校生徒のかばんを入れる棚があり、生徒は 1 時間ごと、学用品を取りにここにやってくる。したがって、上級生が下級生に種々な命令を出したり、気合を入れたりするには、昼食後など格好の良い場所になっていた。上級生の命令は絶対服従で、これには一言も反対をさしはさむ余地はない。運動部の応援や野球場の草むしりなどよくさせられたが、これは大体昼食後ここで命令される。だから下級生にとっては、上級生は先生よりもこわい存在であった。

(※1) 創立 80 周年記念誌 『相中相高八十年』 (1978(昭和 53)年 5 月 7 日発行) 第四部「思い出の記」より。

(※2) 飯豊出身

(転記&※脚注 村山)